

2006年11月30日

各 位

上場会社名 株式会社ダイヘン  
代表者名 代表取締役社長 柳生 勝  
コード番号 6 6 2 2  
上場取引所 東証・大証第1部および福証  
本社所在地 大阪市淀川区田川2丁目1番11号  
問合わせ先 取締役常務執行役員 総合企画室長  
田 尻 哲 也  
TEL (06)6390-5502

## 新事業所建設に関するお知らせ

このたび、弊社の新事業所の建設が、添付資料のとおり、決定いたしましたのでお知らせします。

<添 付> 『世界的な需要増に対応したロボットの開発・生産拠点新設』 2枚

なお、上記案件による当社の当期業績予想(平成18年11月9日発表)に変更はございません。

以 上

## 世界的な需要増に対応したロボットの開発・生産拠点新設！

- 神戸に生産能力60%増の新工場を備えた新事業所を建設し、2008年1月稼働目指す -

株式会社ダイヘン(本社:大阪市、取締役社長:柳生 勝)では、世界的な需要の伸びから、生産量も拡大の一途をたどっているアーク溶接ロボットの事業拡張の一環として、これまで生産を行ってきた摂津事業所(大阪府摂津市)から生産及び開発拠点を神戸市東灘区の六甲アイランド内に移転し、アーク溶接用を中心とした産業用ロボットの生産能力を大幅に拡張した新事業所を建設いたします。

当社では今年度からスタートした3カ年中期経営計画の中でも、8年後の2014年に「世界ナンバーワンの溶接機器専門メーカー」となるため、様々な事業体制の強化に取り組んでおりますが、現工場でフル生産が続いている生産能力を今回の新事業所建設で現状から60%引き上げ、製品供給能力を大幅に向上させることで一層の販売拡大と納期短縮につなげてまいります。

### 新設事業所の概要

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 所在地   | 兵庫県神戸市東灘区向洋町西4丁目 六甲アイランド内<br>(関西電力株式会社殿保有地)              |
| 2. 建設期間  | 2006年12月着工 2007年9月完成予定                                   |
| 3. 操業開始  | 2008年1月予定  |
| 4. 事業所機能 | アーク溶接機・抵抗溶接機・各種溶接用ロボット等の開発、<br>アーク溶接ロボット、各種溶接システム等の生産 など |
| 5. 事業所規模 | 敷地面積:約29,650㎡ 建屋面積:約46,000㎡                              |
| 6. 生産品目  | アーク溶接用を中心とした各種産業用ロボット、各種溶接システムなど                         |
| 7. 生産規模  | 生産能力:8,000台/年(現工場生産能力:5,000台/年)                          |
| 8. 従業員数  | 約500名  |
| 9. 投資総額  | 約60億円(予定)  |

なお、現在の摂津事業所につきましては、既に本年5月及び7月に公表のとおり、摂津市が主体となって取り組む「南千里丘まちづくり構想」の実現に向け、既に売却済みであり、新事業所に移転完了後、引渡しを行う予定であります。

### 当社溶接用ロボット事業の概況

当社の溶接用ロボット事業は1980年の事業開始以来、摂津事業所(大阪府摂津市)にて開発・生産されたロボットを自動車産業を中心とした全世界市場に向けて出荷しており、現在ではグループの柱の事業の一つであります。

特に、2001年に株式会社不二越(本社:富山市、取締役社長:井村健輔)と事業提携を結んで以降は、事業のより効率的な運営や互いの製品補完等を進め、収益性の改善につなげています。

現在は旺盛な国内外の需要に支えられ、工場もフル稼働の状況が続いており、今回の事業所新設により、一層の事業の強化・拡大に取り組み、アーク溶接ロボットの世界トップメーカーを目指してまいります。

## 新事業所建設の狙い

今後も需要の増加が期待できるアーク溶接ロボット事業において、以下に記述の狙いのもとに将来を見据えた開発・生産体制を構築し、世界的な産業用ロボットメーカーとしての地位確立に取り組んでまいります。

### 1. 生産能力の増強

現在の摂津事業所では建蔽率の関係から工場の増築は困難であり、今後の世界的な事業拡張に伴い、ロボット製品の供給能力を拡大していくためにも現工場面積(約9,000㎡)から40%以上拡張した工場面積(約13,000㎡)を確保し、生産能力を現状の5,000台/年から8,000台/年に60%増強した新工場を建設いたします。

### 2. システム生産の拠点統一

これまで十三事業所(大阪市淀川区)で行っていたアーク溶接・抵抗溶接等の各種システムの生産も新事業所に一本化することで、事業効率を向上させるとともに、より大型のシステムにも対応できる設備を整えます。

### 3. 溶接メカトロ関連の開発拠点の統一と拡充

よりお客様の満足度の高い溶接に適したロボット開発を追及していくため、溶接機開発部門と一体となって新事業所内でロボット開発を行うとともに、システム設計部門も統合することで、ソリューション力の一層の強化を図ります。

## 新事業所外観イメージ



以 上

<お問い合わせ先>

総合企画室経営企画部 金子健太郎 TEL 06-6390-5502